

第4回 よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会 会議録	
日 時	平成27年4月22日(水) 10時00分～11時50分
開催場所	関内中央ビル5階 特別会議室
出席者	【委員 4名】大久保委員長、荒尾委員、田中委員、持丸委員
欠席者	荒木田委員
開催形態	公開(傍聴者2人)
議 題	1 平成26年度事業実施報告について 2 事業検証について 3 その他
議事要旨	
事務局	事務局よりあいさつ(健康福祉局 田中健康安全部長) 事務局紹介 定足数の確認 常任委員5名のうち4名の委員が出席のため、定足数を満たし委員会が成立していることを確認
議題1 平成26年度事業実施報告について	
事務局	【報告】 ○参加登録状況 参加実績 98,569人(当初目標50,000人) ○リーダー設置状況 設置数 986か所(平成27年3月末時点) ○インセンティブ実施状況(自動抽選、寄付の実施) 自動抽選 3,000円相当のクーポン券500本 寄付 国連WFPに60万円寄付 ○プロモーション実施状況 記者発表、イベント、広報・広告、テレビ・新聞等 ○歩数計交換の実施 現在歩数計の交換を実施中
田中委員	参加者数は各区ばらつきがありますか。
事務局	南側の地域では参加者が多く、北側の地域では少ないのでばらつきは出ています。人口を年代別で見ると、横浜市の40歳以上を100%とすると、40歳～64歳の方が約60%、65歳以上の方が約40%割なのですが、ウォーキングポイント事業に参加している分布は40歳～64歳の方が約40%、65歳以上の方が60%と逆転します。
田中委員	40歳～64歳の方へのアプローチはどのように取り組んでいくのでしょうか。

事務局	健康寿命を延ばすため、新たに40歳以上の在勤者を対象に今年度は働きかけ、市内の中小企業を応援します。
大久保委員長	今年度は参加者を7万人に増やすとありますが、リーダー設置場所が明らかに少ないところはありませんか。
事務局	チェーン店や駅周辺にリーダーを設置していますので、当初リーダー設置場所がなかった空白エリアも、ほぼカバーできています。
大久保委員長	おおむね順調ということですね。
荒尾委員	今後事業を拡大するには、人口に対応してリーダー設置をする必要があると思います。GISなど独自で持っているデータを使ってリーダーの設置場所を決めたらどうでしょうか。
事務局	検討していく必要はありますが、リーダー設置個所数は1,000か所ということで契約を結んでいます。
荒尾委員	今後リーダーは増やさないのでですか。
事務局	近くにタッチするところがないなどの場合には検討したいと思いますが、大幅な増加は基本的な事業の枠組みに関わります。空白エリアがあまりにも多い場合などは検討します。
大久保委員長	拡充項目の中にはリーダー設置については入らないということでしょうか。
事務局	リーダー設置場所に入りにくいといった意見がある一方で、商店からは顧客が増えたといった意見もありますので、今後は既存設置場所のフォローなど、量より質(内容の充実)に変えていこうと考えています。
持丸委員	リーダー設置については商店街にどのように働きかけたのでしょうか。
共同事業者	横浜市商店街総連合会と連携し、区の商店街連合会を訪問し、リーダーを置いてくださる商店街の店舗を募りました。
持丸委員	個別の店舗まで話が下りていないところもあるように思います。商店街の中心的な店舗もウォーキングポイントのことを知らない店舗があります。どのように周知したのでしょうか。

共同事業者	区の会合で告知をし、商店街の会長にお話をしています。
大久保委員長	1つもリーダーを設置していない商店街はあるのでしょうか。
共同事業者	参加に消極的な商店街も中にはあります。
大久保委員長	何とか成功事例を出して、全ての商店街にリーダーを1つは置けるように協力してもらえるといいですね。 ところで、インセンティブの利用率が5.3%ということですが、商品券の期限はありますか。
事務局	期限は半年ですので、今後使われる方もいるとは思いますが出足は低い状況です。
荒尾委員	どのくらいの方が200ポイントを達成したのですか。
事務局	1回目の抽選は参加申込をした全員が対象で82,285人、2回目の抽選では200ポイント達成した人24,774人を対象に抽選を行いました。
大久保委員長	平成26年度のインセンティブ予算はいくらですか。
事務局	1,000万円です。
大久保委員長	金額と本数からして余剰があると思いますが、27年度に持ち越すのですか。
共同事業者	4月の抽選（1～3月対象）など、一部持ち越しました。
大久保委員長	やってよかったと思うインセンティブを用意できるといいですね。
田中委員	ウォーキングは、健康づくり、仲間づくり、まちの活性化、社会貢献につながっています。その4つのうち、寄付という形の社会貢献は自治会長に伝えたり、具体的に知ってもらうことで、大いにアピールすることができると思います。 抽選は500本しか当たらないが、寄付は全員貢献できると思えることに意義があります。寄付をアピールすることによって、事業が次のステップに進めることができると思います。
大久保委員長	4つの視点はどれも重要ですが、どこにウエイトを置いていくかという事業展開につながってきますね。60歳以上の方が多く参加されているということなので、学校給食で栄養が補給された経験を有しています。そのため寄付の給食というのは、

	<p>身近に感じてもらえるかもしれませんね。</p> <p>個人の健康だけではなく、社会貢献について意見が出ました。</p> <p>それでは、議題2に進みます。</p>
議題2 事業検証について	
事務局	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業効果をアンケート調査と歩数データから検証する。</li> <li>○アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>主観的健康度や運動への関心度、運動習慣の変化、外出頻度等</li> </ul> </li> <li>○歩数データ検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数、継続者数、平均歩数等</li> </ul> </li> </ul>
大久保委員長	10万人申込みがあつて、リーダー設置場所に2回以上行った人が半分の5万人ということですが、原因は何でしょうか。
事務局	歩数計本体のみで健康管理をしており、初期設定をするためにリーダー設置場所に行っていないことが考えられます。
大久保委員長	リーダー設置場所がわからないということはありませんか。
事務局	リーダー設置場所のマップは、歩数計と同封してお送りしています。
持丸委員	お店の中のどこにあるのかわからないのではないのでしょうか。
事務局	一度もリーダーにのせていない人にヒアリングなどをしてみないと、確かな理由は判明しませんが、リーダーにのせるとポイントが貯まること（のせないポイントが貯まらないこと）をわかりやすく伝えていかないといけないと思います。
荒尾委員	初期設定をしていない人は約4万人とかなり多いですから、アプローチする必要があります。
大久保委員長	年齢など、初期設定していない人の特徴はわかりますか。
事務局	年代別などは今年度検証してまいります。
大久保委員長	アンケート調査はどの位の規模で行うのでしょうか。
事務局	3,000～4,000人の予定です。

大久保委員長	抽出方法ですが、データのある人、ない人は把握できますか。 また、参加者の方にはアンケート調査を実施する事について予め伝えてありますか。
事務局	アンケートについては、参加要領に記載しており、参加要領に同意していただいています。
大久保委員長	事前にお伝えしてあるということですね。
荒尾委員	アンケートの内容は、主観的に変化があったか聞くような内容ですか。
事務局	その予定です。
大久保委員長	登録している人（データのある人）は良い結果につながったという仮説を立てることも考えられますね。
事務局	登録していない人（歩数計を持っているだけの人）でも健康行動を促す効果があるという結果が出る可能性も考えられます。
荒尾委員	本来の事業ターゲットにしている人は、健康意識が低い人だったはずですが。そのターゲット層と実際の参加者が果たしてマッチングしているのかどうかの検証が必要です。もともと健康意識が高い人が参加しているという場合は、自治体の健康施策が健康格差の拡大につながる危険があります。
事務局	非常に難しい問題です。
荒尾委員	行政がやる評価検証なので、研究のように厳密にやれなくてもできる範囲でよいと思います。しかし、健康格差の拡大の危険を認識し、ターゲットをとらえているのか見ていく必要があります。
大久保委員長	行政が一定の行政目的で行う検証で、研究者がするものとは性質が異なるということですね。 性別・年齢で抽出すると良いのではないのでしょうか。
事務局	登録の有無で半々で抽出し、性別・年齢は分析で比較する予定です。
大久保委員長	アンケートは量が多いと途中で嫌になってしまうと思いますが、回収率はどのくらいを考えていますか。

事務局	行政が行うアンケートの回収率は4～6割程度なので、それ位の回収率を想定しています。
荒尾委員	自身で申し込むタイプの事業なので、もっと期待できるのではないのでしょうか。
事務局	質問数は多すぎないようにします。
大久保委員長	アンケートが他の種類等と紛れ込んでも分かるように、用紙の色などを工夫したほうがいいと思います。
持丸委員	プロモーションの実績についてですが、広報よこはまには2回掲載しただけですか。
事務局	広報よこはま全市版は9月と11月の2回ですが、各区版にも掲載しています。
持丸委員	区版に掲載されていると目に留まると思います。
荒尾委員	図2についてですが、それぞれの特性がわかるといいと思います。そうすることで、初期設定を促す方策も検討できますね。この事業に反応した人がどういった人なのか、初期設定した人、していない人、リーダータッチの回数など、それぞれの特性を分析する表を作るとよいと思います。
事務局	歩数データを分析して特性を探っていきたいと思います。
田中委員	保健活動を推進していく立場から、区役所と連携してリーダータッチを増やす取組をどうしかけていくかを考えていきたいと思います。
事務局	18区と連携して、各区の良い取組みを情報共有していきます。
荒尾委員	この事業は4年間続くものなので、これまでは参加者を増やすことに重点を置いてきましたが、今後は現在の参加者にいかに継続してもらうかを考える必要があります。
大久保委員長	来年度以降は異なる視点のアンケート調査になりますか。
荒尾委員	調査は年1回の実施ですか。
事務局	アンケート調査の詳細については、今回の調査を踏まえて検討します。

田中委員	年間賞など、200ポイントに届かなくても、ハードルを上げずにプレゼントを用意できるとよいのではないのでしょうか。
大久保委員長	社会貢献についてですが、月平均が一定数以上ではなくて累計歩数で考えられるとよいと思います。月平均歩数が少ない人でも寄付に少しでも寄与できるような基準が良いのではないのでしょうか。
事務局	表現方法も含めて、より実感が湧くような目標の設定を検討します。
荒尾委員	評価についてですが、市民全体を対象とする他の調査も活用できると良いと思います。
事務局	健康横浜 21 策定時に健康に関する意識調査を実施しています。その結果などを活用できると考えています。
大久保委員長	他にはいかがですか。
田中委員	歩数計交換の際は、迅速に対応していただいたので良かったと思います。
共同事業者	歩数計交換の申込みが、現在 33,587 件ほどあり、順次交換させていただいています。
荒尾委員	生産は間に合っていますか。
共同事業者	何とか対応しているところです。
荒尾委員	電池の期限はどのくらいですか。どのように電池を交換するのですか。
共同事業者	電池の期限は約半年です。工具なしで交換できるようになっています。
荒尾委員	電池が切れる半年で参加者数に変化があるかが気になります。
大久保委員長	27 年度は事業所単位で市内在勤者の申込受付を行うという事ですが、事業所単位でランキングはできるのですか？
事務局	その方向で検討中です。団結力を高めてチームで取り組めるようにします。
荒尾委員	この事業をひとつの成功事例にしたいですね。

事務局	健康経営の概念とも方向性が合致しています。中小企業は健康経営への取り組みが難しいので、利用してもらいたいです。従業員の健康が向上すると、生産性が上がります。
田中委員	40~64歳の方に働きかけていくことが大切と考えています。 栄区は分区30周年でもあり、今年をウォーキングイヤーとして、ウォーキングマップの再整備を行い、40代の参加率アップに力を入れていこうと思っています。 ウォーキング団体も多数あり、そのような団体で活躍されている人に集まってもらい、委員会を開催し、知恵を出し合っていきたいと思っています。
荒尾委員	成功したら、その取り組みを成功事例として紹介して欲しいです。
議題3 その他	
大久保委員長	「議題3 その他」ですが、事務局から何かありますか。
事務局	次回の選定等委員会の開催についてですが、今年中に1度開催したいと考えています。日程は後日委員の皆様にお伺いします。
大久保委員長	12月頃でしょうか。
事務局	事業検証の取りまとめを終了した後に開催します。
荒尾委員	よこはまウォーキングポイントは、他の自治体も注目されているので、ぜひ成功事例にしてもらいたいです。
大久保委員長	それでは、これもちまして、第4回よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会を終了します。皆様、長時間お疲れ様でした。  (以上)